

第23回青年対策交流集会に参加して

全港湾東北地方青年婦人部
部長 薄井 栄人

第23回青年対策交流集会がシーパレス豊橋にて開催されました。2019年から3年ぶりの開催となりましたが、開催が出来ない期間の中でも計画を絶やさずに今回開催できたのは、会って話しをすることも出来ない厳しい状況の中でも、横の繋がりを絶やさなかった全港湾青年部の底力だと思います。

全港湾鈴木誠一中央執行委員長から「全港湾の歴史」について、全国港湾真島勝重中央執行委員長から「原子力発電所建設阻止の闘い」について講義をしていただきました。

全港湾の歴史について、「全港湾の歴史は戦後と共にある」この言葉がどんな意味を成しているのか、戦後～現代にいたるまで諸先輩方が闘ってきた運動を知るきっかけを今回の1時間という限られた時間の中で教わることが出来たと思います。この歴史は今、青年層である私たちが10年20年先の青年層へしっかりと伝え継承していかなければいけないと強く思いました。

原子力発電阻止の闘いについては、実際に現場で運動をしていた真島中央執行委員長から直接話しを伺うことが出来ました。今後の平和運動においてコアとなる部分は何なのか？やはり地元住民が声を上げ、仲間と団結して闘っていくことが大切なのだを知ることが出来ました。我々が取り組んでいる平和運動を今後どのように発展していけばいいか、指針がみえた講義となりました。

分散会では、各班がテーマに沿って、様々な意見が出ました。各地方で起こっている問題を共有し、今後、全国の運動をどう盛り上げていくか、活発な意見が出た分散会となりました。

今回参加して、初めて会う人、久しぶりに会う人との繋がりがより太く・強くなった青年対策交流集会になりました。現地で仲間に会える喜びと直接会話をしてできる団結は全港湾のそして青年部の力の源であると強く感じました。この勢いをフクシマ連帯キャラバンや沖縄平和行進、全国で行っている運動に発展させていきましょう！

最後に開催にあたり、3年という長い期間で企画・運営を担当していただいた沖縄地本の皆さんありがとうございました。